

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2024 年 10 月 17 日開催分)

開催年月日 : 2024 年 10 月 17 日(木) 17:00~18:00
開催場所 : Café WASUGAZEN 愛宕グリーンヒルズ店
委員の出席 : 番組審議員 5 名
書類審査 2 名
WOWOW プラス 9 名

出席者

[審議員] 青木真弥、池ノ辺直子、高寺成紀、富澤一誠、村上典吏子
(以上 50 音順、敬称略)

書類審査

[審議員] 音好宏、湯浅正敏 (同上)

[放送事業者] (株式会社 WOWOW プラス)

宮澤辰之、森田健介、松田健吾、青木昭、高木慶、渋谷明子、
山下泰司 (記録撮影)、内藤友基 (記録撮影)、高野佳彦 (書記)

議題 : (1) 2024 年 7 月~9 月の「WOWOW プラス」に対する視聴者からの問い合わせや指摘
・意見について
(2) 「WOWOW プラス」の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項 : 2024 年 7~9 月の「WOWOW プラス」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について
株式会社 WOWOW プラス メディア戦略局長より代表的な内容等の概要説明を行った。

審議事項 : [審議番組]

WOWOW プラス地方創生支援プロジェクト『美瑛の丘で』

<審議番組概要>

2022 年より取り組んでいる「地方創生支援プロジェクト」の、第一弾『帯広ガストロノミー』に続く第二弾として制作した短編作品。

雄大な丘陵地帯に農業用地が広がる北海道・美瑛町を舞台に、新規就農を目指して研修に励む 2 人の主人公を通して農地侵入などの課題に向き合う姿や、四季の移り変わりの美しさを夏・秋・冬の 3 作で描き、2024 年 7 月に放送。

・本番組および「地方創生支援プロジェクト」への評価と、それが WOWOW プラス視聴者にとって価値ある編成企画と考えられるか。

参考 : 「地方創生支援プロジェクト」美瑛町の地域課題

- ① 農業と観光業の両立とリテラシーの向上
- ② 冬の観光資源の創出・事業化
- ③ 通過型観光地としてのポジション改善
- ④ 移住・定住促進。

審議内容 : ■審議員意見

・初めて知る土地で、靴のままで農地に入れないことや自然に人の手を加えて作られた美しい景観であることが知れ、印象的で楽しめたが、主役の 2 名が美瑛に魅せられた理由には説得力に欠け、ドラマとしては残念。やはり 3 編に「春」編も加え

年間通じて 60 分超の作品に仕上げれば、作品の幅や話題性が増すと思われる。現状では観光 PR 的な印象が強い。

- 楽しく拝見した。エンタメでありつつ、野生のキツネへの餌やり禁止、農家と観光客の関係、自然と人間の共生など、学びの要素が豊富でメモを取りたくなる内容。1 話 18 分という尺で余計なところがなく、勉強になるショートストーリーとして受け止めた。「春」編が予定されているなら続編をぜひ期待したい。
- 映像はとてもきれい。「春」編がないのはとても残念。皆そういうと思う。教育ドラマ、村起こしのためのドラマの要素が強く、エンタメ作品としては少し残念な仕上がり。
- 「夏」編の冒頭ドローン映像は美瑛の美しさを見事に表現し、期待感を抱かせる。農業と観光の問題点や年間通じて美瑛に来てほしい、という気持ちはすごく伝わるが、具体的な地域課題の説明に欠けている部分もある。構成的には主役の女性たちの「成長物語」としての期待が寄せられる。今後、実際の就農者をモデルにしたストーリー展開や、日本全体の変化に対する意識、問題点も織り込んだ上で脚本を練りこんでもっと内容を深められれば「成長物語」の共感や期待につながる。
- 話題性のある番組ではないため日跨ぎ週跨ぎより、続けて一気に見せた方が三幕風でメリハリがあり見易さに繋がっていた。「観光客に来て貰ってこそだが、観光客に来て欲しくないとも思える農業者達の苦悩」を言語化、可視化した上で「解決のためには変化を受け入れ、それに向き合う諦めない姿勢が必要」という具体的な提言も加えて描いたところに作り手の真摯な姿勢が感じられた。ただ最も訴えたいことを背負っていた農家の男性役の演技に説得力がなかったのは惜しいと思った。
- 地方創生支援プロジェクトも政治改革の課題として挙げられているようにタイムリーなテーマとなってきた。番組としては「地域課題」として挙げた 4 テーマが予定調和的に盛り込まれた嫌いがある。観光資源のプレミアム化という課題からみると、インバウンド対応の質的転換の課題（訪日客の激増、生産人口低下、地方生産品ブランド化、リゾート化など）と共通する。例えば AI（人工知能）を活かした新しいビジネス開発（IOT とビッグデータ解析、VR、AR リアルと AI 空間の融合）、音楽コンサート事業の開発などが解決策となり得る。
- ストーリー展開の単純さはさておき、美瑛町の街の美しさ、自然との調和のとれた風景、野生動物の愛くるしさもあいまって、美瑛の観光導入番組としては非常によくできている。ただ、北海道への就農の実情について少々知り得る立場にいる者としては、ちょっと就農への美化が強すぎの感は否めなかった。せつかくのドラマ制作なので、マルチ展開を考えると、ストーリーにもう少し折り返しがあっても良いのではないか。

連絡事項： 次回番組審議会は、2025 年 1 月 16 日(木)午前 11 時(予定)より開催。

以上